

SaaS アプリのパフォーマンステストツール

Qlik Sense SaaS に、パフォーマンステストツール（ApplicationEvaluator）の機能が搭載されました。

アプリケーション内のオブジェクトの応答時間とリソース消費を調べることが可能です。

■ 前提条件

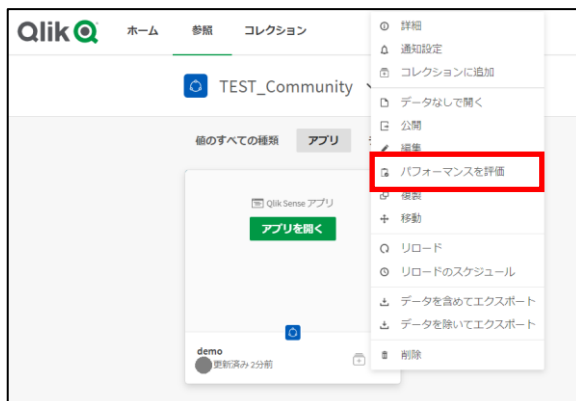
- Qlik Sense SaaS のバージョン：2021 年 4 月更新版
- 該当アプリをリロードする権限を有すること

■ メーカーヘルプサイト

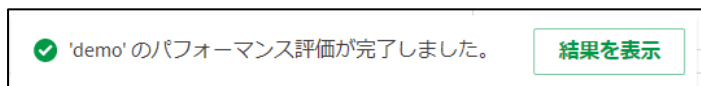
https://help.qlik.com/ja-JP/cloud-services/Subsystems/Hub/Content/Sense_Hub/Apps/app-performance.htm

<https://community.qlik.com/t5/Qlik-Product-Innovation-Blog/Manage-performance-with-the-new-Application-Evaluator-available/ba-p/1799878>

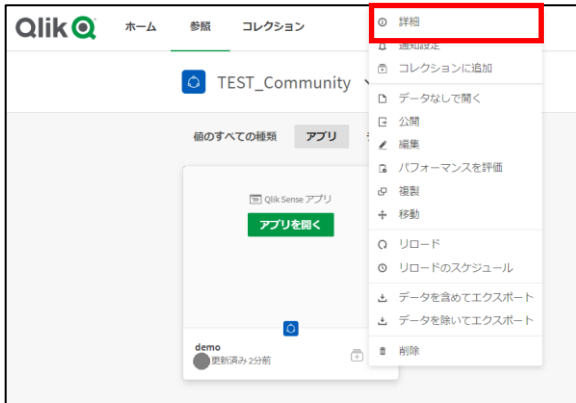
1. アプリの右下にある[…]-[パフォーマンスを評価]を選択します。



2. 評価が完了すると、以下のようなバーが表示されます。



3. アプリの右下にある[⋮]-[詳細] を選択します。

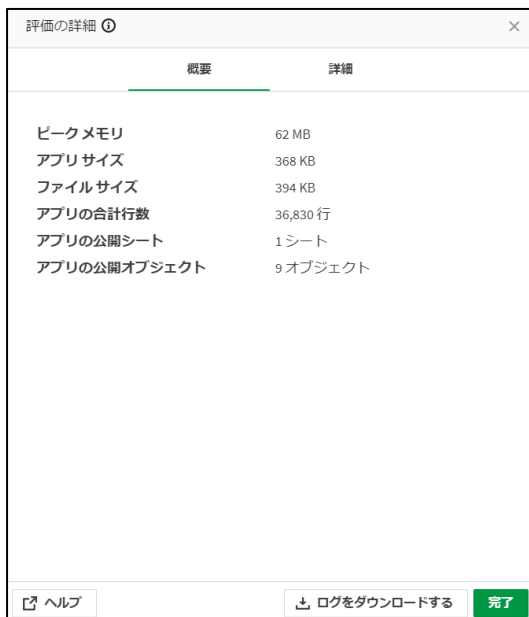


4. [パフォーマンス評価]を選択し、パフォーマンス測定した日時の結果をクリックします。



過去に評価した履歴も表示されます。

5. 結果をクリックすると、概要と詳細タブが表示されます。



✓ パフォーマンス評価軸

● キャッシュ

Qlik Sense は各チャートの演算結果をキャッシュとして保持し、再利用することでパフォーマンスを向上させています。

軸を計算式にしている場合、メジャーの計算式に複数項目が使われている場合などは、パフォーマンスが低下する可能性もあります。

例えば、Sum(Sales) と SUM(Sales) と設定している数式の小文字と大文字が異なるだけで、別のキャッシュを持ちます。

複数のチャートで同じ軸やメジャーを利用する場合は、マスターアイテムを使うことにより、効率よくキャッシュが作成されます。

● シングルスレッドのパフォーマンス

Qlik Sense の演算は 2 つのステップで実行されます。

1. 計算式に含まれている項目がどのテーブルにあるかを見つけ、別テーブルにあれば、結合する処理をします。このステップはシングルスレッドです。

例えば、Sum(定価*数量)の場合、

定価はマスタに、数量はファクトテーブルに存在するといった状況です。

2. 演算を実行します。このステップはマルチスレッドです。

シングルスレッド部分は、パフォーマンスに大きな影響を与える可能性があるため、影響度を評価します。

● チャートのロード（表示）時間

ユーザーのリクエスト（選択など）開始から表示までの時間を、キャッシュが既に作られている場合と作られていない場合で、評価します。

● メモリの割り当て

Qlik Sense にロードされたテーブルと項目はメモリ上にあります。

メモリを多く利用している上位 5 つのテーブルと項目を表示しています。

分析軸やメジャーとして必要のない項目は取り込まないようにすることも一つの手法です。

以上